

岩手県立大学盛岡短期大学の「学部プロジェクト研究」について

学部プロジェクト研究マネージャー 松本博明・佐々木隆

学部プロジェクト研究は、盛岡短期大学部教員全員を研究メンバーとして、平成17年度から始まった「地域の生活環境に関する文化的観点からの総合研究」（研究期間3年）プロジェクトです。

本学が中期構想にうたう「現代社会の緊急課題等を研究テーマとして、多様な専門分野の研究者が学際的・複合的に研究に取り組み、地域社会に有用な優れた研究成果をあげ、その成果を地域社会に積極的に還元します」に対して、盛岡短期大学部が独自そして重点的に取り組む中期計画として「文化・環境に関する地域的課題についての研究」を挙げています。この課題を達成するために、様々な分野の研究者が所属する本学部の特色を活かして、文化と環境の視点から地域的な課題を発掘して、その解決に向けての糸口を掴み、それを地域に発信するプロジェクト研究です。ややもすると個別研究に陥りがちな研究シーズを総合して、地域貢献課題即ち地域のニーズにどのように結び付けていくか、また、学部に配分された研究予算をいかに効果的にそして実りある形で活かすかという課題を共通基盤に、「住環境」「食と健康」「多文化共生」「文化の継承」の4つのプロジェクトを立ち上げ、それぞれ研究が進められています。

本号では、2年間にわたる研究の中間成果を報告いたします。今後も短期大学部の持つ多様な研究ポテンシャルを地域にいかに還元できるかを念頭に研究を進めてまいります。大方のご高評を賜りたく存じます。

平成19年3月